

ごあいさつ

私たち川口市水道局は、昭和27年の事業開始以来、蛇口をひねれば当たり前、安全な水道水を安定してお使いいただける環境を整えて参りました。それは、台地と低地が入り組む複雑な地形の克服をはじめ、水源の確保、急激な都市化の伸展に伴い急増した水需要との戦いでもありました。今、21世紀に入り、かつての「拡張の時代」から「維持管理の時代」へと推移していく中で、水需要は、一層複雑・多様化しています。そこで、水道事業そのものの社会的な価値を新たな視点から検証する必要があると考えました。それは、「維持管理の時代」から「経営の時代」への転換と言い換えられます。

このような視点に立ち、私たちは自らの意識を、「水道水供給事業者」という位置づけから、「水道水という商品を取り扱うサービス企業」という位置づけに改めました。これは、蛇口をひねれば当たり前に出る水を活かす環境を過ごし、水を媒体として、市民のみなさまに安心と安全を実感していただける、真心のこもったサービスをお届けする快適環境創造企業に革新するという決意を表すものです。

アクアプランの策定にあたり、水道をご利用いただいている多くのお客様からご意見をいただきました。この貴重なご意見を分析し、私たちに求められる期待を計画に反映しました。また、すべての水道局職員が率直に思いを述べ、自分たちの強み・弱み、自分たちを取りまく機会・脅威について真剣に考え、自分たちの提供できる価値の範囲と水準を定めました。そして、市民のみなさまをはじめ、市職員からパブリック・コメントをいただきました。これらを総合し、川口市上下水道事業運営審議会において、将来をも見据えた多角的な検討が行われました。このようにして、アクアプランは、川口市水道事業の新たな長期経営計画と、この計画を戦略レベルに具体化した中期経営計画とを統合した、価値前提の計画として策定されたものです。

このアクアプランは、単なる計画ではありません。お客様のために必ず達成する指標を定めたものです。日常はもとより、災害時においても、地域のみなさまや医療機関、老人保健施設、障害者施設などに、安全な水を、十分な水量で、確実にお届けすることをはじめとし、新たな時代を担う子どもたちに、健全な水循環による自然環境の保全といった国内的な視点や、安全で安心な水を渴望する諸外国の実情といった国際的視点をお伝えすることなど、水の関わる幅広い役割を、目標に従った目に見える成果として達成して参ります。

私たちには夢があります。それは、どのような災害が発生しても、水に飢える市民を出さない川口市をつくるという夢です。

我々は一丸となって、懸命にこの計画を達成します。

そして、夢を現実にするため、努力を怠りません。

このアクアプランにより、安全・安心と真心を、お客様のもとにお届けし続けて参ります。



川口市水道事業管理者 澁谷祥晴

1

アクアプラン川口21

～川口市地域水道ビジョン～

川口市水道事業長期経営計画

及び

川口市水道事業中期経営計画

の策定にあたり



アクアプラン川口21～川口市地域水道ビジョン～ 川口市水道事業長期経営計画・川口市水道事業中期経営計画は、川口市水道事業が目指す理想の姿と、これを実現するための道筋を明らかにした中・長期計画です。

この計画の策定にあたっては、川口市上下水道事業運営審議会において多角的な検討が行われるとともに、事務作業においては、アンケートによるお客様¹の声の分析や水道局全職員による内部環境要因・外部環境要因の分析を行いました。

本市水道事業は、第3次川口市総合計画に位置付けられた「やすらぎのある川口をつくる」ため、「拡張の時代から維持管理の時代へ」という方向性のもと、川口市水道事業基本計画に基づき、平成13年度から「安全で安定した給水」を目指して事業を推進してきました。この間、鉛製給水管²・石綿セメント管³の全廃、老朽管⁴の更新、耐震対策、浄配水機能の更新など、安全で安定した水運用の基盤整備に努めてきたところです。

¹ お客様：水道事業は地域の独占の事業であり、民間企業にも増して、顧客重視の姿勢が不可欠である。そこで、料金をお支払いいただいている方を中心に、住む方、働く方、訪れる方を含め、本市の水道をご利用いただく方々を、お客様と定義する。

² 鉛製給水管：鉛の柔軟性を用い、加工が容易な管として古くから広く使用されていた給水管。川口市では全廃されている。

³ 石綿セメント管：石綿繊維（アスベスト）、セメント、珪砂を水で練り混ぜて製造したもの。現在の水道管には使用されていない。

⁴ 老朽管：耐用年数が近付いている配水管。川口市では高級铸铁管。平成28年度までに耐震管にすべて更新する。

また、水道法の改正などを踏まえ、新たな社会情勢に対応した水道事業の展開に取り組んできました。

しかし、現在の本市水道事業が効率的な運営を確保しつつ、社会・経済情勢の変化にも的確に対応し、様々な水需要に応えられる、安全で安定したサービスを提供するためには、水道施設の更なる整備と機能保全が重要な課題となっています。そして、これらを支える人材の育成、技術の継承と、市民とのパートナーシップに立脚した社会関係資本機能を有する企業基盤の確立も急務となっています。このことは、「拡張の時代から維持管理の時代へ」という方向性のもと、水道事業の管理（コントロール）に主眼を置いてきたこれまでの取り組みから、「経営」（マネジメント）に主眼を置いた取り組みにシフトする必要があると言い換えられるでしょう。

このような経営環境の変化に適応し、本市水道事業が将来にわたって安全で安定した給水を持続するためには、あるべき将来像を定め、その基礎となる経営基盤の強化や技術力の確保などについて、しっかりとした方向性を定めることが必要です。そして、我々が提供する価値水準を明らかにするとともに、その実現のための具体的な施策や工程をお伝えすることが不可欠です。このことによって、企業が失敗しないための活動である「管理」から、企業が成長していくための活動である「経営」にシフトすることが可能となります。

そこで、昭和 27 年から積み重ねてきた本市水道事業の特徴を活かしながら、新たな次元での基礎を確立し、お客様に水道水を通じて安全で安定したサービスを持続的に提供し続ける、真の市民サービス企業を創造するため、今後 10 年間に於いて達成する計画を、『アクアプラン川口 21～川口市地域水道ビジョン～』（以下「アクアプラン」と称します。）として策定しました。

この、中長期計画の策定にあたっては、川口市上下水道事業運営審議会の委員のみならず、多角的な検討が加えられました。また、事務作業においては、水道事業に対する職員全員の”思い”を集約し企業の理想の姿を導き出すとともに、WEBアンケートによるお客様の声の収集・分析、職員全員による内部要因・外部要因の分析（SWOT分析⁵）を併用しました。このような工程を経て、理想の姿を実現するための道筋を明らかにしています。

今後 10 年間にわたる、本市水道事業の方向性をご覧ください。



⁵ SWOT 分析：強み（Strength）・弱み（Weakness）＝内部要因、機会（Opportunity）・脅威（Threat）＝外部要因を評価・分析することによってし、強みで機会を活かし、弱みで機会を逃さず、強みで脅威を機会に替え、弱み・脅威が強みをつぶす事態を避ける戦略を導き出す手法

2

計画の位置づけ

アクアプランは、川口市の最上位計画である「第3次川口市総合計画」（目標年次 平成22年）に基づき、本市水道事業の将来像を定めるとともに、来る10年間の達成目標を明らかにする「長期経営計画」の内容と、この計画に基づく概ね3年間の経営戦略を明らかにする「中期経営計画」の内容を総合するものとして策定しました。

【第3次川口市総合計画との関係】

アクアプランは、川口市の最上位計画である「第3次川口市総合計画」（目標年次 平成22年）の「やすらぎのある川口をつくる」柱の下、「安全・安心で安定した水道水の供給」を実現する、新たな川口市水道事業の中長期構想であり、今後の水道事業の指針とするものです。

【厚生労働省「水道ビジョン」との関係】

厚生労働省は、21世紀の初頭において、全国の水道事業関係者が共通の目標を持ち、互いに役割を分担しながら連携して取り組むことができるよう、その道筋を示した「水道ビジョン」を平成16年6月に発表しています。そして、「水道ビジョン」の方針を踏まえ、各水道事業の現状を分析・評価したうえで、地域の事情に合致した「地域水道ビジョン」を策定することを推奨しています。

アクアプランは、「水道ビジョン」に示された政策目標などの基本的な視点を踏まえ、川口市としての経営的視点から策定しており、川口市における「地域水道ビジョン」として位置づけるものです。

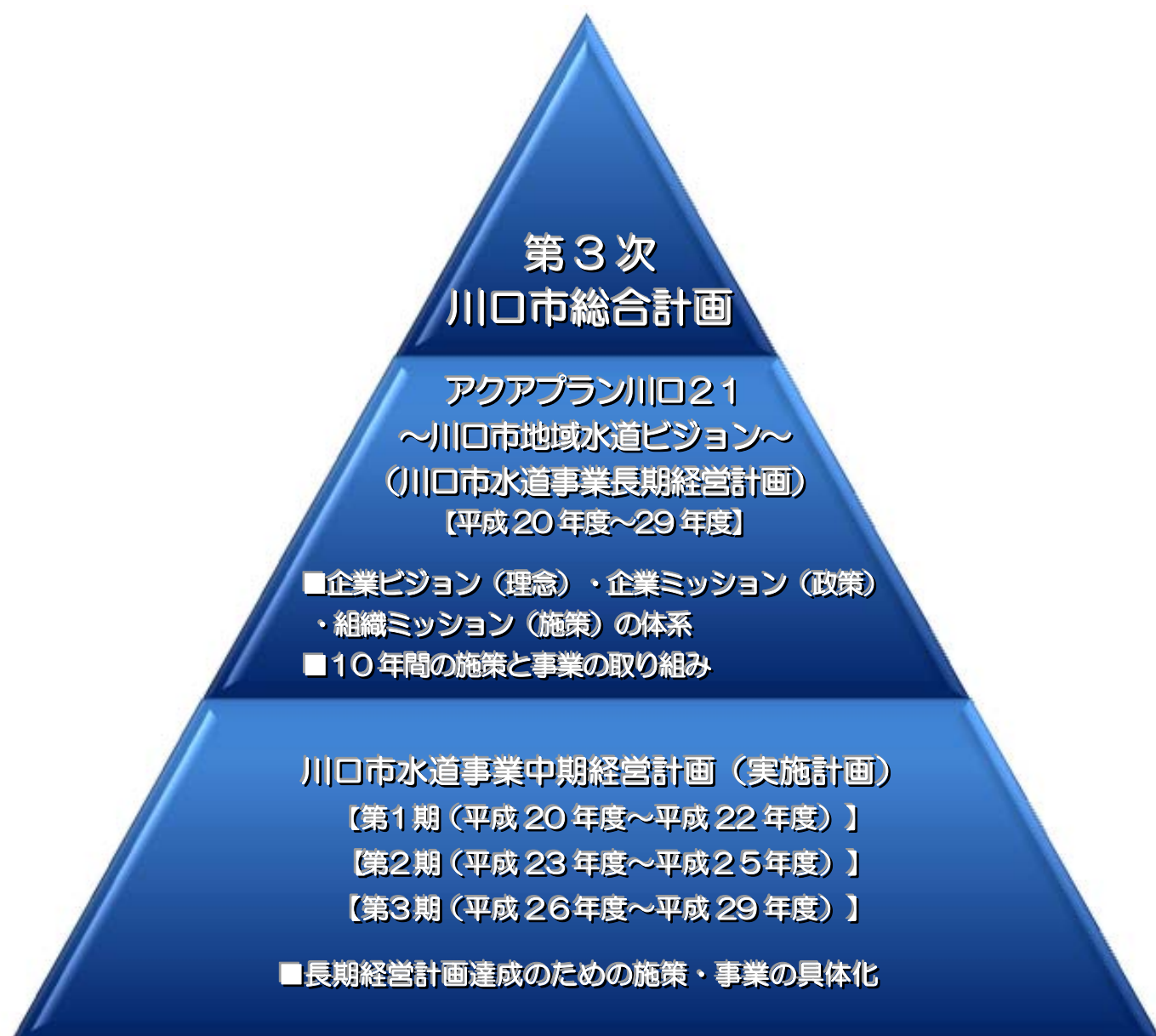
【「地方公営企業の経営の総点検」との関係】

国(総務省)は、地方公営企業が、将来にわたりその本来の目的である公共の福祉を増進していくため、厳しい環境の変化に適切に対応すべく、改めて地方公営企業の経営の総点検を行うよう求めています。この中で、民間活力の導入をはじめとし、中期経営計画、業績評価の実施、積極的な情報開示を指摘しています。

また、本市においては、平成14年度に第2次行政改革の新たな大綱を策定し、平成17

年9月から川口市行政改革集中改革プラン⁶を策定し着実に実行しています。その中で水道事業についても、平成17年度からの経営健全化のための取組みを明示しました。

アクアプランは、集中改革プランに掲げた経営健全化の取組みのほか、施策・事業を具体化するための目標数値、財政収支計画などを示す「中期経営計画」を含んでいます。そして、民間活力の導入、業績評価に関する事項及び情報共有の推進に関する事項を包含する経営革新計画として策定しています。したがって、「地方公営企業の経営の総点検」での指摘に合致する内容であることから、この指摘に應える計画として位置づけます。



⁶川口市行政改革集中改革プラン：平成17年9月に平成21年度までの具体的な取組みを明示したもの。このプランのもと、民間委託等の推進、定員管理の適正化、第三セクターの見直しなどに全組織を挙げて積極的に取り組んでいる。